

各分科会レポート

1 会 第1分科 環境・平和教育

「原水禁長崎大会」から学んだこと
～原子力について、放射線について、
地球環境とエネルギー～

前半は、青年部より原水禁長崎大会参加者からの報告を行い、後半は放射線の実験を通して、放射能と原子力に関する知識を深めた。実験では、目で見ることができない放射線をドライアイスを充填させたケースの中で観察し、自然界に放射線があることを身近に感じることができた。放射線のプラスとマイナスの両面を知ること、放射能に関する正しい知識を持つことの重要性を改めて感じた。実験を通して、理科教員以外でもわかりやすく学ぶことができた。



2 会 第2分科 人権・共生教育

自分も相手も大切にしたい
「コミュニケーションを学ぶ」
～アサーシオンの考えから～

アサーション・トレーニングの演習を中心に行った。場面設定での答え方を「ドラえもん」の登場人物になぞって「のび太くんタイプ」「ジャイアンタイプ」「しずかちゃんタイプ」に分けロールプレイを行い、「しずかちゃんタイプ」で答えることを多くすることのコツを学んだ。「Iメッセージ」と「Youメッセージ」のうちの「Iメッセージ」で表現する演習を通して、自分も相手も幸せになる話し方やお互いのよりよい関係づくりについて考えることができた。



3 会 第3分科 PTA・地域住民との連携

よしもと芸人「クレヨン」が語る
これからの福井

クレヨンさんが「ふるさと魅力再発見」をテーマに、「福井の良さ」や「これからの福井」について参加者と楽しく意見交換を行った。また、勝山市内の小中学校の実践発表では、児童生徒の発信がすばらしいという感想が寄せられた。PTAの参加者が多く、グループ討論ではお互いの学校や地域の活動について活発に話し合いがなされた。子どもは、保護者・先生・地域と一緒にを行う行事によって成長することを再認識する分科会となった。



4 会 第4分科 教育条件整備と学校財政

「校外学習」計画から会計まで
～勝山で行える校外学習地へ行く～

「勝山ジオサイト見学（平泉寺大矢谷「巨大な岩」）」「恐竜博物館・かつやま恐竜の森発掘体験」「かつやまゆめおれ見学・まゆ玉クラフト体験」を行った。このようなフィールドワークは県教研では初めての企画だったが、参加者からは「実際に訪れることで勝山の歴史や文化を詳しく知ることができた。」「校外学習にぜひ活かしていきたい。」という感想が多く好評を得た。また事務職員部からの校外学習の会計処理について説明は、わかりやすい資料が準備され、各学校での活用に役立つと思われる。

